

川崎市立川崎総合科学高等学校 1 年生 9 名が当社川崎製造所を訪問しました

～「川崎臨海部しごとスタイルプログラム」の一環～

当社川崎製造所(川崎市川崎区：以下「当製造所」と表記)は、「川崎臨海部しごとスタイルプログラム」()の一環として、2022 年 12 月 13 日に川崎市立川崎総合科学高等学校の生徒 9 名の企業訪問を受け入れました。

「川崎臨海部しごとスタイルプログラム」とは？

川崎市の臨海部国際戦略本部、臨海部企業、教育機関が一体となり進めている産学官の協働活動。地元高校生に川崎臨海部立地企業で働く人々の姿を見て、知って、体験できるような機会をつくり、シビックプライドを育みながら将来の自分の働くイメージ像を持ってもらうことを目的とする。臨海部企業にとっても、企業活動の PR や将来的な雇用につながる機会としての活用が期待できる。

< 詳細は川崎市ホームページの該当箇所をご参照ください >

<https://www.city.kawasaki.jp/590/page/0000132618.html>

■ 背景

当製造所では毎年、全国各所の高校に生産技術職の求人募集をおこない、応募者の 3 年生には工場見学で生産現場の雰囲気を感じてもらっていますが、そうした就活生だけでなく、もっと早い 1・2 年生の時期に当製造所のことを知ってもらう機会があれば、当製造所の PR にもなり、生徒自身にとっても時間的余裕をもって進路選択を考えることができるのではないかとの思いがありました。今回の「川崎臨海部しごとスタイルプログラム」はそうした当製造所および生徒(学校)の双方のニーズに合致する取り組みであると考え、参画を表明しました。

■ 企業訪問の内容

当製造所のものづくりがリサイクル原料を大量に使用する「資源循環型」であることを知ってもらうために、まずは屋外のスクラップ置き場からスタート。その後、スクラップの成分検査作業の説明の後、70 トンのスクラップを電極からのアークで溶かす電気炉を見学しました。



スクラップ置き場前



スクラップ成分検査



電気炉の概要を説明中

見学後の質疑応答では、「仕事のやりがいは何か」「就職するきっかけは何か」等、当製造所の社員自身に向けられた質問が相次ぎ、働くことの意義や将来の進路について、生徒が真剣に考えていることを感じさせられました。



見学前に全員集合(生徒9名、先生1名、川崎市担当職員1名)



質疑応答の様子

当製造所は今後も「川崎臨海部しごとスタイルプログラム」における「企業訪問」の受け入れ先として参画し、地元高校および地域行政との協働活動を通じた関係性の強化に努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ先：人事部（電話：044-271-3111）